

訃報

生物科学専攻助手松井泰博士が2005年12月30日逝去されました。享年47歳でした。博士は、新聞等で報道されたように、家族との休暇旅行で訪れていた秋田県の温泉地で、硫化水素により倒れた家族を救出する際、自らも犠牲になられました。若くして亡くなられた博士のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

あ と が き

今年度5冊目の理学系・理学部ニュースをお届けします。2005年11月、12月の活発な教育研究活動の様子を研究ニュースや講演会の報告などから読み取っていただけたと思います。ところで、2005-2006年の冬はこのほか寒さが厳しいものとなりました。本誌の編集作業を進める間に、いくつもの訃報があり、トピックスに3名の名誉教授の先生方の追悼記事を掲載する事となりました。さらに、年末には、不慮の事故による松井博士逝去のニュース。この事態に編集者一同、大変心を痛めました。石川先生、藤井先生、川島先生、そして松井先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

連載シリーズ「附属施設探訪」は5回目となりました。今回は、雪景色も緑の季節もともに美しい、天文学教育研究センター木曾観測所です。これまで、桜の小石川植物園、夏の三崎臨海実験所と原子核科学研究センター、紅葉の植物園日光分園、そして雪の木曾観測所を紹介してきましたが、本郷キャンパス外で行われている充実した教育研究活動の様子を身近に感じていただけていると思います。今回は、桜の天文学教育研究センター（三鷹）の予定です。

この「ニュース」は、理学系・理学部の全構成員にお読みいただけるよう配布方法も工夫しています。広報誌に期待されている役割はいくつかあると思いますが、編集担当としては、活動報告の記録としての役割とともに、その内容をお読みになった構成メンバーや関係する方々の発想を刺激し、より質の高い深みのある教育・研究を推進する助けになれば嬉しいと思っています。1ヶ月おきに発行されるニュースの編集作業には、手間と時間がかかります。広報委員会の広報誌編集担当や広報室という制度があるからといって、自動的によい広報誌ができるわけではなく、編集者の熱意とセンスが欠かせません。4専攻から出ている編集担当とともに、広報室の名取さん、加藤さん、田中さんの3名で精力的に編集作業を進めてきましたが、田中さんが11月で退職され、12月からは大島さんが作業を引き継ぎ、1月からは小野田恵子さんも加わっていただきました。今後もさらに魅力的な広報誌を目指して編集作業を行いますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

真行寺千佳子（生物科学専攻 助教授）

第37巻5号

発行日：2006年1月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会

牧島 一夫（物理学専攻）maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明（地球惑星科学専攻）yokoyamat@eps.s.u-tokyo.ac.jp

真行寺千佳子（生物科学専攻）chikako@biol.s.u-tokyo.ac.jp

後藤 敬（化学専攻）goto@chem.s.u-tokyo.ac.jp

渡辺 正昭（庶務係）mwatanabe@adm.s.u-tokyo.ac.jp

加藤 千恵（庶務係）c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp

小野田恵子（庶務係）onoda@adm.s.u-tokyo.ac.jp

e-mail：kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP担当：

名取 伸（ネットワーク）natori@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：

大島 智（ネットワーク）satoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・三鈴印刷株式会社